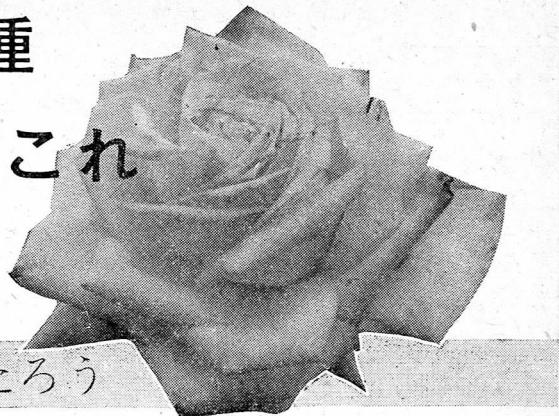


バラの品種

あれこれ

いとう・けいとう・ろう



「冬来たりなば春遠からじ」と昔からよく
いわれております。今年もはや二月、窓外
は未だ雪に覆われておりますが、陽ぎは
すでに春の間近いことを告げているようで
す。間もなく雪もとけ、再びなつかしい黒
い土が私達の前にあらわれてくること少し
よ。さて、バラの栽培熱は、益々盛んに

なってきました。四五年前では町の中でも、農村でもあまり見かけなかったバラの植え込みが、最近ではあちこちに見かけるようになりました。今年も、どのようなバラを植えようか、また今年こそはバラを植えてみよういろいろと計画を立てながら、やがてやってくる春を待つておられることでしょう。

昨年は赤のクリスチャンデオールや、日本で発表された黄色の天津乙女、白のガーデンペーテー等久しぶりに良い品種が出て、大変好評を博しました。今年の新しい品種やこれだけは是非という品種等を話題に筆をすすめてみましょう。

まず赤いバラから始めますと、黒紅色としてシベリウスがあります。本種は、久しぶりに発表された半剣弁咲のバラです。香りも強く性質も大変強く切花、花壇用には最適です。時に今年は新花として人気の高い花です。また流行の朱紅色としてはスペスターに人気が集まりそうです。この花は丸弁ですが、高芯型の美しい花型を持ち、色は実に美しい朱紅色です。がつかりしたステム(茎)、耐病性強くウドンコ病にも全く心配はありません。花立ちも良く切れ花用にも出来ます。次に米国生まれのハイブリッドを紹介しましょう。花の色はスペースターを更に濃くした朱色で、よく伸びた太いステム、花着き大変多いなどの切花用としては最上のバラです。ややウドンコ病に弱いのが欠点のようです。次に是非とも植えていただきたい赤バラとしては美しい

このフランス生まれの花は発表されて二年目で今後の赤バラはクリスチャンデオールとさえいわれるようになりました。

この外、朱紅色のソラヤ、濃紅色のマルディグラアやオレンジ朱色の花付きのよいスター、アーヴィヤー等は樹勢も強健、耐病性もあり初めてバラ作りをする方におすすめいたします。

黒いバラとしてはボンヌイ、シャルルラン、ジョセフィンブルースの三種がありますが、それぞれ特長があり、一番色が濃く、しかも形がよく花付が多く作り易いのはボンヌイです。フランス語で「お寝みなさい」といわれるこの花は香も強く、ステムも長く、切花にしますと実にすばらしい花です。

またシャルルマルランの花は雄大で大変美しいですが、花付きもすくなく、また大変形のとれにくいバラで、誰にでもおますすめ出来ません。

次にピンクのバラについてみましょう。

日本人は元來このピンク色を余り好んではいないようです。しかしローズ色とかバラの花で、伸長力が旺盛で、花付きも大変よく作りやすく、しかも丈夫ですので切花用として広く利用されています。とにかく、始めてバラを作る人はどうしても欠かすことのできないバラです。また新しいところでは比較的作り易いジユネスやピンクスターもありますが、更有に有名なのはピースの子供のコンフィダンスがあります。

やや淡いピンクのこの花は、強い芳香を有し大変美しい花型を持ち、なかなか捨てがたいバラです。更に各地のバラの人気投票で常に上位に入選しているアンレットの大変優雅な剣弁花は、お庭のバラ花壇をより一層美しくさせることと思います。

更に花持ちはよく、ちょっと純ピンク色とは違いますが、ローズゴジャールも花付き多く、しかも良く伸びて丈夫な花です。この外、ヘントロウベルも作り易い桃色のバラの一つです。

クリスチャンデオール

黄色のバラに移りましょう。最近は黄色





ローズ ゴジャール

ところでは、ゴールドクローネがあります。この花も作り易く、しかも大変美しい黄色の花です。純黄色としては、少し淋しい感じがありますが、ゴールデンセプターが黄色花の内で最良花と言えましょう。花はよく整った形で、時に秋には、その澄み切った黄色の剣弁高芯花は黄色花の最高と言えましょう。また橙黄色のバラとしてはチヤントレーがあります。この花の特徴は、咲き切った花びらが外側にそりかえることです。更にタイス、モハベ等もこの色の系統としては捨てがたい花でしょう。

覆輪系をのぞきますと、一代の銘花、ピースはその巨大輪、その枝の太さ、葉の輝きまた花の型付きに、一つとして他の追随を許しません。バラ作りはピースに始り、ピースに終わると言つても過言ではないでしょう。誰からも愛され親しまれているこの花は、絶対にお宅のバラ園から切り離すことはできません。現在のバラの内、ピースの血を引いているものは相当あります。今後ともピースはバラ界の王座を長く保つていくことでしょう。覆輪系としてはこの外

に、コルデスペーフエクターがあります。ピース種ではないにしろ、白に紅の覆輪を持つたこの花は大変丈夫で花付きもよく、変った色彩が喜ばれております。

昨年來より話題となつて来ましたガーデンパークは米国生まれですが、フランス生まれのようやわらかい色彩と形で、一本位植えておきたいバラです。

大きな花ですが、ややもすると咲き切れず
に終わることがあります。またジエーンブ
ライドは大変花付きも良くやや黄色味をお
びますが、作りやすい白バラの一つです。
複色としては、ピースの子、チガーヌが
早咲で色の配合もよく、ちょっと面白い花
です。この外、赤と白のグランガランは樹
勢も強く、枝もよく伸び、花付きもよく、
特に咲始めの花は大変見事です。新しい花
としてはテーンエージャーが大変見事な花
を咲かせます。

次に紫のバラとしては、最も紫に近いと
いわれているのは、オーキッドマスター・ピ
ースでしょう。しかし、このバラの色は、
ここ四五年来五六十種もこの系統の色の
花は発表されましたが、まだまだその目的

大変多く、しかも次から次へと咲き続けます。色彩も大輪種にはないような色もあり、丈夫で大作り易いバラです。特に学校の花壇や、公園等では是非必要なバラです。札幌の中島公園のバラ花壇にもフロリバンダローズを植込み、見事に咲いております。最近では、この系統の花も色々と理解され利用されることも多くなってきましたので、二～三品種をあげてみます。

赤色としては、紺紅色のコンチエルトが大変樹勢もよく花付きも多く、特に一斉に咲き乱れた時の美しさは実に見事です。この外には、濃紅色のブレフォブジローーや重咲きの可愛らしいサラバンド等と色々と

以上で大体四季咲きの大輪種の概要を説明いたしました。しかし最近だんだん庭作りがいわゆる西洋風の庭になつてきましたので、バラの花壇も一本一本の花を見るよりは集団的な植込みを作る傾向になつて来ました。このため、中輪房咲種といわれるフロリバンダローズが非常に利用されるようになりました。この系統の花は、一箇の花を見るのではなく、集団的な美を見るので、花も余り大きくはありませんが、花付きが

も本当の紫の花の出現までは、相当長時間かかると思います。さて、最後は絞り系のバラです。モダンタイムスが一番はつきりとした赤と白の絞りですが、やや首は弱い方です。

新しい花としてはソネットを紹介します。この花は桃色として有名なルバイヤットの枝変わりです。花の形や樹勢は全くルバイヤットとそっくりです。絞りとしては大変よいバラの一つです。

以上で大体四季咲きの大輪種の概要を説明いたしました。しかし最近だんだん庭作りがいわゆる西洋風の庭になつてきましたので、バラの花壇も一本一本の花を見るよ

マスケラートよりは花型、色等の見劣りするようと思えます。ピンク系では、ピンクペーパークトが花も大きよく伸びます。また黄色としては、リモサが素晴らしい

この花と同じ系統には、花が小型で
が、やはり丈夫で作りやすいルンバがあり
ます。

あります。変わったところでは、咲きはじめから、次々と花の色が変化するマスケラートは作り易いので初心者向きとしては最適です。

最後に、つるばらですが、北海道では四季のつるばらは、なかなか咲かせることができますが、朱のダンンドフユ、黄のハイヌーン、濃桃色の大輪花のエデンローズ等は、安心して作れます。

以上で大体概要をのべましたが、ここで私達が作ってみて、とくに作りやすく、優良なバラと思われる花を一〇種あげてみましょう。

赤色系	クリスチヤンデオール
黒紅色系	ボンヌイ
黃色系	ゴールデンセブタ一、天津乙
橙色系	チャントレー、タイス
桃色系	クインエリザベス、アンレツ

黄色系 ゴールデンセプター、天津乙
橙色系 チャントレー、タイス
桃色系 クインエリザベス、アンレツ
女

ツ 桃色系 クインエリザベス、アンレット
橙色系 チャントレー、タイス

桜色系 ランディ クラス
桃色系 クインエリザベス、アンレツ
ツ

桃色系 クインエリザベス、アンレット
白色系 ビレッジ ツ

桃色系 クインエリザベス アンレット
白色系 ビルゴ ツ

白色系 ピルゴ

白色系 ビルゴ ツ

白色系 ビルゴ
覆輪系 ピース

白色系 ビルゴ
覆輪系 ピース
複色系 チガーヌ

複色系 ピース
チガーヌ

複色系
チガーヌ
覆輪系
ピース

複色系 チガーヌ

複色系 チガーヌ

複色系 チガーヌ

複色系 チガ一ヌ

複色系 チガーヌ
(雪印種苗・営業部)

13